



未来をひらく

保護者連絡ツール「tetoru」を導入

令和5年度から、北九州市立の幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校では、学校・園と保護者の連絡ツールとして、「tetoru(テトル)」を導入します。

「tetoru」は、自治体向けに無料で提供されている、学校と保護者間の連絡機能に特化したアプリです。

学校からの連絡

家庭には、従来の一斉メールと同様に、学校からのお知らせがtetoruアプリに届きます。
また、学校はファイルを添付して連絡することができます。



家庭から欠席等の連絡

保護者は、欠席や遅刻・早退の連絡を、電話の代わりにtetoruアプリからオンラインで行うことができます。



©ていたん&ブラックていたん,北九州市

なお、アプリ利用に伴う通信料は、保護者負担となります。
また、推奨環境などの諸事情により、保護者が「tetoru」を利用しない場合は、これまでと同様に、学校から電話や手紙で連絡等を行います。

公立夜間中学校の準備を進めています

教育委員会では、「北九州市立夜間中学校設置基本計画」を策定し、令和6年4月の開校を目指して準備を進めています。

今回、みなさまから学校名の候補を募集し、以下の名称を選定しました。

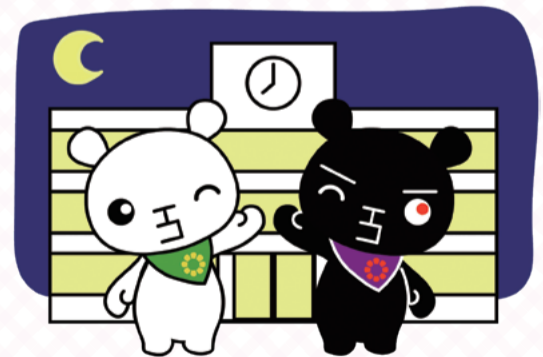
北九州市立ひまわり中学校

選定理由

- ひまわりは「北九州市の花」として、市民に広く知られている
- ひまわりの花言葉のように、「憧れ」や「情熱」をもって学ぶ夜間中学校の生徒の姿が思い起こされる
- ひらがな表記とすることで、親しみやすさが表現できる

公立夜間中学校とは…

様々な理由により小学校や中学校を卒業したことがない15歳より上の人(満15歳に達した日以降の最初の3月31日を過ぎた人)や、不登校などで勉強できないまま中学校を卒業した人、外国の人が、義務教育を受けるため、夕方から勉強する学校です。



©ていたん&ブラックていたん,北九州市

PR動画もぜひご覧ください!

<https://youtu.be/fGNW57ySPsQ>





北九州市総合教育会議報告

総合教育会議とは…

市長と教育委員会が、教育施策の方向性を共有するため、協議・調整を行う会議です。令和4年度の総合教育会議を、以下のとおり開催しました。

日時 令和4年12月23日(金) 午後 2時00分～3時00分

出席者 北橋市長、田島教育長、シャルマ委員、津田委員、竹本委員、郷田委員

- 議題**
- (1) 教育大綱及び北九州市子どもの未来をひらく教育プランの推進状況について
 - (2) いじめの重大事態について

「教育大綱及び北九州市子どもの未来をひらく教育プランの推進状況について」では、市の基本構想・基本計画である「元気発進!北九州」プラン策定以降の教育委員会の取組みや成果を紹介し、意見交換を行いました。

市長からは、「学力や体力の向上」「学校の業務改善」「不登校児童生徒への支援」「公立夜間中学の着実な準備」「学習環境の整備」及び「市立高校の魅力向上」などに、引き続きしっかりと取り組んでいただきたい旨の発言がありました。

「いじめの重大事態について」では、令和4年6月に北九州市いじめ問題専門委員会に臨時委員を置くことができるように条例を改正したことなどを報告しました。

市長からは、いじめを受けた児童生徒にとって、心身の健全な成長や人格の形成に影響を及ぼす重大な問題である旨の発言がありました。



令和4年度 杉浦奨学生の決定

芸術・文化、学術、スポーツの各分野で優れた成績を残し、将来の北九州市の文化振興等の担い手となる人材を育成するため、北九州市文化振興基金を活用して、修学資金の一部が給付される「杉浦奨学生」に、令和4年度は5名の方が決定しました。

奨学生の対象は、北九州市民を保護者にもつ学生です。

過去の奨学生の中には、オリンピック代表など輝かしい実績を挙げている方が多数おり、今後の杉浦奨学生も将来の更なる活躍が期待されます。



令和4年度 杉浦奨学生

氏名	部門	学 校
城戸 珊瑚	スポーツ 柔道	大牟田高等学校
沼口 昇永	スポーツ 硬式テニス	大分舞鶴高等学校
伊藤 彩香	スポーツ 陸上	福岡大学
谷 昂登	芸術文化 ピアノ	桐朋学園大学
尾崎 伸一郎	学術 土木工学	九州大学大学院

ブレイキンレッスンの実施

令和5年2月24日(金)～2月25日(土)に北九州市にて開催の「ブレイキン・フォー・ゴールド・ワールドシリーズ」にあわせて、ブレイキンの講師を市内の学校へ派遣し、児童生徒がブレイキンの基本的な動きを学びました。

ブレイキンやダンスなどのスポーツへの関心を高めることや「ブレイキンワールドシリーズ」北九州大会の盛り上がりにつながりました。

実施時期 令和5年1月13日(金)～2月17日(金)

実施校 小学校 35校、中学校 6校、特別支援学校 1校

講 師

●九州男児新鮮組

久留米市出身者を中心に総勢20名以上で構成された、世界大会での優勝実績もある、ティーンエイジブレイクダンスエンターテインメントチーム。

●YUKI a.k.a. EARTH

世界大会にも出場経験のある北九州市出身のB-BOY。日本を中心にダンスバトル、ダンスコンテストで優勝・入賞を多数獲得し、ブレイクダンスBOTYで日本一に輝く。

●SAORI

Kitakyushu DANCE 協会会長。本市小中学校ダンス指導講師。



「北九州市特別支援教育推進プラン」の改訂

平成29年1月に策定した「北九州市特別支援教育推進プラン」の計画の期間は、「概ね10年後を見据えた方向性を示す」としており、計画の内容については、特別支援教育をめぐる国内外の動向、課題の変化等も考えられることから、5年後をめどに必要な見直しを行うとしています。

このたび、策定から5年を経過し、「GIGAスクール構想に伴う1人1台端末の整備によるICTの利活用」、「医療的ケア児支援法の施行による医療的ケア児やその保護者への支援体制」、「SDGsと特別支援教育の関係」など、国や本市における新たな動向に対応するため、改訂しました。

今後とも、改訂プランに基づき、具体的な施策を推進してまいります。

目指す方向性

互いの人格や多様性、個性の尊重

+

環境の整備

+

障害者理解の促進

➔ 共生社会の形成

可能性を生かす・引き出す教育

+

「わかる」・「できる」喜び

➔ 子どもたちの「生きる力」

「5つの視点」及びそれらを踏まえた取組内容

1. 一人一人に着目した連続性のある指導・支援の充実

- ◎ 研修体制や関係機関との連携の強化
- ◎ ICT機器等の活用による指導・支援の推進
- ◎ 医療的ケア児支援の体制整備
- ◎ 就労支援の充実、福祉等との連携
- ◎ 作業学習プログラムの充実 など

2. 相談支援体制の整備

- ◎ 本人・保護者の同意に基づいた検査内容や相談内容の共有
- ◎ 分かりやすい相談窓口の提示
- ◎ 早期支援の充実 など

3. 教員の専門性の向上、外部人材等の活用

- ◎ 教職員全体の特別支援教育の理解促進
- ◎ 特別支援学級、特別支援学校等の教員に求められる専門性の向上
- ◎ 地域の教育資源の組合せによる多面的な支援の充実
- ◎ 就学前期の指導・支援の充実 など

4. 障害者理解の促進

- ◎ 人権意識の向上
- ◎ 子どもたちの頑張る姿を社会にPRする機会の確保
- ◎ 市民との協働による教材・教具の作成 など

5. 施設・整備面の整備

- ◎ 施設・整備面の整備
- ◎ 特別支援学級の設置
- ◎ 特別支援学校の再編整備 など

※太字は改訂に伴う新規項目

学校における業務改善の推進

教育委員会では、未来を担う子どもたちに「質の高い教育」を提供し続けるため、学校における業務改善を推進しています。今後は、令和5年2月策定の「学校における業務改善プログラム<第3版>」に基づく取組みを、3か年計画で一層推進していきます。

主な取組

● 朝の活動や清掃活動の簡素化、授業時間の短縮など、**日課表の見直し**を行います。【各校で見直し】

● 部活動の開始及び終了時刻を明確に設定するなど、**平日における実施時間(2時間程度)の徹底**を図ります。また、部活動の段階的な地域移行に向けた準備を進めます。【中学校各校で(順次)実施】

● 勤務時間外(原則17時以降)は**留守番電話機能を活用**します。【全校で実施】

● **学校行事の精選**(内容・準備の見直し・簡素化含む)を行います。【各校で見直し】

本市教職員が、
 ● 授業やその準備など、子どもと向き合う時間を確保し
 ● 日々元気に子どもたちの前に立つとともに
 ● 魅力ある学校教育を実現するために、**皆様のご理解とご協力をお願いいたします。**

教育委員会

学校・園

保護者

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が公表されました。新型コロナの影響で令和2年度は全国的に中止され、令和3年度は、本市は実技に関する調査を実施しませんでした。

小学校5年生及び中学校2年生を対象に、本市において3年ぶりに実技に関する調査を実施した結果、体力合計点が小学校男子、中学校男女で全国平均を上回りました。

※ ◎…全国平均に比べて特に高い、○…全国平均に比べて高い、△…全国平均に比べて低い

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ(小) ハンドボール投げ(中)	体力 合計点
小5 男子	○	△	○	△	△	○	○	○	◎	○
小5 女子	○	△	△	△	△	○	○	○	○	△
中2 男子	◎	○	◎	○	△	○	○	◎	○	◎
中2 女子	○	△	◎	△	△	△	○	○	△	○

※ 中学校は持久走(男子1500m、女子1000m)と20mシャトルランのどちらかを選択して実施

小学校

- 8項目中男子は6項目、女子は5項目において、全国平均を上回りました。また、体力合計点については、男子は全国平均を上回り、女子は下回りました。
- 特に男子のソフトボール投げが全国平均に比べて高い値でした。

中学校

- 9項目中男子は8項目、女子は4項目において、全国平均を上回りました。また、体力合計点については、男女とも全国平均を上回りました。
- 特に男子の握力、長座体前屈、立ち幅とび、体力合計点、女子の長座体前屈が全国平均に比べて高い値でした。

質問紙調査

Q 運動やスポーツは好きですか。

A 「好き」と回答した割合は、小・中学校男女ともに全国を上回っています。

Q 学校の授業以外で、どのくらい運動やスポーツをしていますか。

A 「1週間の総運動量が60分以上」と回答した割合は、小学校男女は全国と同程度で、中学校男女は全国を下回っています。

Q 体育・保健体育の授業は楽しいですか。

A 「楽しい」と回答した割合は、小・中学校男女ともに全国を上回っています。

スポーツ庁の動画リンク

室伏長官のビデオメッセージ

<https://youtu.be/AbEVQcNvxjc>



室伏長官が考案・実演する 身体診断「セルフチェック」動画

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.html



※GIGA端末でも視聴できます。ぜひご家庭でもご活用ください。

全国的な傾向及びスポーツ庁の見解

○ 体力合計点については、令和元年度調査から連続して小中学校の男女ともに低下しました。低下の主な要因としては、

- ① 1週間の総運動時間が420分以上の児童生徒の割合は、増加しているものの、以前の水準には至っていないこと
- ② 肥満である児童生徒の増加
- ③ 朝食欠食、睡眠不足、スクリーンタイム^(※)増加などの生活習慣の変化
のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により、マスク着用中の激しい運動の自粛なども考えられます。

(※)スクリーンタイム…テレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像の視聴時間

本市においても、全国平均を上回っている種目等もありますが、以前に比べて全体的に体力が低下しています。今後も各学校において、体力向上の取組を進めるとともに、「楽しい体育・保健体育の授業」を実践していきます。各家庭におかれましても、生活習慣の改善、運動の習慣化へのご協力をお願いいたします。

いじめ問題に係る警察との連携等の徹底について

令和5年2月7日、文部科学省より、児童生徒の命や安全を守ることを最優先に、暴行や恐喝等犯罪行為として取り扱われるべきと認められる事案や重大ないじめ事案として、警察への相談又は通報すべき19の具体例が参考として示されました。

学校及び教育委員会はこれからも警察等関係機関との連携も含め、いじめへの対応を適切に行なってまいります。

○警察に相談又は通報すべきいじめの事例(一部抜粋)

暴行罪

- ゲームや悪ふざけと称して、繰り返し同級生を殴ったり、蹴ったりする。
- 無理やりズボンを脱がす。

名誉毀損、侮辱

- 特定の人物を誹謗中傷するため、インターネット上に実名をあげて、身体的特徴を指摘し、気持ち悪い、不細工などと悪口を書く。